

欠席者連絡メモ

8月10日 水曜日 名前()

科目	国語
授業	<ul style="list-style-type: none"> ・P.10.11 ・P.18 四 ・古文プリント①
宿題	<ul style="list-style-type: none"> ・P.12.13 ・漢字プリント ・資料問題 ⑨
プリントの有無	

※次回の授業は開始30分前に来て下さい。補習します。

英和ぶればある

問五						
(イ)						
大切である。						
29						
70						
60						

--

中三 国語 古文（1）

英和があればある 氏名

- 1 次の古文を読んで、あとに問い合わせに答えなさい。

南都に歯取る唐人ありき。ある在家人の、慳貪にして、利養を先とし、事に触れて、あきなひ心のみありて、徳もありけるが、虫の食ひたる歯を取らせむとて、唐人がもとに行きぬ。歯一つ取るには、錢二文に定めたるを、「一文にて取りてたべ。」と言ふ。少分のことなれば、ただも取るべけれども、心様の憎さに、「ふつと、一文にては取らじ。」と言ふ。やや久しく論ずるほどに、おほかた取らざりければ、さらば三文にて、歯二つ取り給へとて、虫も食はぬに良き歯を取り添へて、二つ取らせて、三文取らせつ。心には利分とこそ思ひけめども、疵なき歯を失ひぬる、大きなる損なり。これはまうすに及ばず、大きに愚かなること、をこがましきわざなり。

〔沙石集〕より)

10

(1) 線A～Dを現代かなづかいに直し、すべてひらがなで書きなさい。
 (2) 線①～③、⑤の主語はだれか。あとから選び、記号で答えなさい。
 (3) 行きぬ [] 言ふ [] 取らせつ []
 (4) 齢取る唐人 イ ある在家人
 (5) 文章中に「ある在家人」の言つた言葉として、「 」でくくるべきと
 ろがもう一か所ある。文章中から書き抜きなさい。

〔注〕*南都=奈良時代に都だった平城京のこと。
 *唐人=中国から渡来した人。 *在家人=出家していない人。
 *慢貪=けちで欲ばかりなこと。
 *利養=利益をむさぼって自分の財産を殖やすこと。
 *徳=財産。 *たべ=「給へ」の少しきだけた言い方。
 *利分=こそ思ひけめども=得をしたと思つただろうが。

(5) この文章を通して、作者が述べようとしているのはどんなことか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。
 ア 自分の過ちを決して認めようとしない愚かさ。
 イ つまらない意地を張つて人を不快にさせる愚かさ。
 ウ 目先の利を求めて大切なものを失う愚かさ。
 工 健康を損なうまでその大切さに気づかぬ愚かさ。

隨筆の読解

8/10

(K)

p.10
5
p.11

基本

解答

p.18

短歌・俳句の鑑賞

標準

解答

- (9) (8) (7) (6) (5) (4) (3) (2) (1)
 峠の楓の芽吹き
 咲きだそう→うとする葉
 1 きしむようにして・たゆたいながら
 ははじまり
 入れた→抜いた
- エ ウ イ イ
- (4) (3) (2) 2 用心深いと

○解説○

(1) ①段落には「芽吹き」という言葉がくり返し出てくる。この「芽吹き」のなかでも、筆者がいちばん好むものの条件を満たす七字の言葉を探す。①段落の「楓の類の芽吹き」では、まだ一つ限定する条件が足りない。⑤段落から抜き出す。

前文に「そこは純林の、一斉の芽吹きになる」とあることを押さええる。

(4) (3) (2) 「手早く咲き、また伸びようとはしない」を手がかりに、前文から「彼ら」にあてはめられる部分を制限字数内で探す。

(5) 「選抜」とは、連れとどこおることなので、花や葉がなかなか開かない、なかなか広がらない様子を表した表現を探す。

(7) (6) 直後に「生まれといふか」と言い換えていて「生まれといふか」といふことに着目する。

(7) (6) 「一段落したような」であれば、「落ち着いた」「ほつとした」「緊張が解けた」といった眺め方になるはずなので、「氣を入れた」では合わない。

(9) アは①段落に「公園にある一、三本の楓でさえ……見ほれる」とあるので誤り。イは②段落に「両方も好きだが、細かいえば、咲きだそうとする花……に

ろうとする葉」に「心をひかれる」理由として、「手早く咲き、また伸びようとはしない」ことを挙げているので、ウも誤り。

- 1 (1) ① D 観覧車かなにかに乗って、高いところから都心を見下ろしている
 情景を詠んだものと思われる。② C 子どもは絵本を見て、迷子になつた
 象をかわいそろい思つて泣いているのである。

(3) (2) 「細くやさしく」は、「鳴る」にかかるで、倒置法が用いられている。
 句切れは、言い切りの形になつている部分に着目する。

- 1 (1) ① D ② C
 三(句切れ)
 (第)二(句)

解答

(夏) 中三 国語 古文 (1)

(1) A あきない B おおかた C もうす
D おこがましき

① イ ② イ ③ ア ⑤ イ
さらば三文にて、歯二つ取り給へ

(5) (4) (3) (2) (1)
ウ 虫の食ひたる歯・良き歯(疵なき歯) (順不同)

現代語訳

南都に歯を抜き取る(ことを仕事にしている)唐人がいた。ある在家人で、けちで欲が深く、利益をむさぼって富を殖やすことを何より重んじ、何かにつけて、商売気ばかりあつて、財産も持っている者が、虫の食った歯を抜き取らせようと思つて、唐人のもとに行つた。歯を一本抜くには、錢二文と定めているのに、「(在家人)」「一文で抜いてください。」と言う。わざかな金額だから、ただで取つてもよいのだが、(値切ろうとする)心根が憎らしいので、「(唐人は)」「絶対に、一文では抜くつもりはない。」と言う。かなり長く言い争ううちに、いつこうに抜かなかつたので、「(在家人)」「それならば三文で、歯を二本抜いてください。」と言つて、虫も食つていないので健康な歯を加えて、「一本抜かせて、三文与えた。(在家人)心の中では得をしたと思つただろうが、悪いところのない歯を失つてしまつたのは、大きな損である。これは申すまでもなく、たいへん愚かなこと、ばかりた行為である。

高校受験 漢字テスト 読み取り-7

1 人間の実体に触れる。

2 身勝手な人を嫌悪する。

3 会場の華やかな雰囲気。

14 母が繕い物をしている。

15 母が縫い物をしている。

16 穂やかな季節になった。

4 前方を凝視する。

5 丸裸にされて恥ずかしい。

6 軍勢を率いる。

7 ベートーベンの不朽の名曲。

8 読書を奨励する。

9 街の雑踏で友達を見た。

10 イギリスへ向けて出帆する。

11 あの瞬間を思い出した。

12 携帯電話が普及する。

13 調査結果を詳細に報告する。

高校受験 漢字テスト 書き取り-7

1 長い年月をツイやす。

2 先生が生徒をミチビく。

3 ザッシの編集者。

4 顔は父とよく二でいる。

5 自宅のウラは森だ。

6 日本の天然シゲンだ。

7 会社のギョウセキをあげる。

8 言葉をショウリヤクする。

9 権利をシユチヨウする。

10 問題点をケントウする。

11 史料カチがたかい記録。

12 先生にインソツされてゆく。

13 量はホウフにある。

14 天地ソウゾウ。

15 カツキ的な発明。

16 個人をソンチヨウする。

17 激しい論争をテンカイした。

18 ココロヨい風が吹く。

19 雨のため運動会はノびた。

20 活気をオびてきた。

21 ガスが風にマじった。

22 好意にムクいる。

23 優先席をモウける。

24 偉人のコウセキをたたえる。

25 優勝はヨウイではない。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

高校受験 漢字テスト 読み取り-7

1 人間の実体に触れる。

2 身勝手な人を嫌悪する。

3 会場の華やかな雰囲気。

14 母が繕い物をしている。

15 母が縫い物をしている。

つくる

けんお

ふ

ふんいき

ぎょうし

は

ひき

4 前方を凝視する。

5 丸裸にされて恥ずかしい。

6 軍勢を率いる。

7 ベートーベンの不朽の名曲。

8 読書を奨励する。

9 街の雜踏で友達を見た。

10 イギリスへ向けて出帆する。

11 あの瞬間を思い出した。

12 携帯電話が普及する。

13 調査結果を詳細に報告する。

16 穏やかな季節になった。

17 内容を詳しく分析する。

18 国旗を掲げる。

19 買い物袋を提げて歩く。

20 巧妙な手段を用いる。

21 世界の偉人の逸話。

22 自然の恩恵をこうむる。

23 おしゃべりは迷惑だ。

24 薬品を患部に塗る。

25 この国は食料が乏しい。

おだ

ぬ

つくろ

ふんせき

かか

さ

こうみょう

いつわ

おんけい

めいわく

ぬ

とぼ

高校受験 漢字テスト 書き取り-7

1 長い年月をツイやす。

2 先生が生徒をミチビく。

3 ザッシの編集者。

費

導

雑誌

似

裏

資源

業績

省略

主張

検討

価値

引率

豊富

14 天地ソウゾウ。

15 カツキ的な発明。

16 個人をソンチヨウする。

17 激しい論争をテンカイした。

18 ココロヨい風が吹く。

19 雨のため運動会はハビた。

20 活気をオびてきた。

21 ガスが風にマジった。

22 好意にムクいる。

23 優先席をモウける。

24 偉人のコウセキをたたえる。

25 優勝はヨウイではない。

13 量はホウフにある。

創造

画期

尊重

展開

快

延

帶

混

報

設

功績

容易

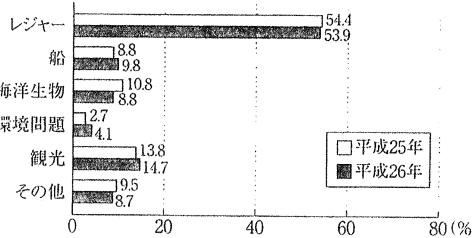
中三 国語 論述の資料読み取り問題①

英和ぶればある 氏名

中学生のAさん、Bさん、Cさん、Dさんの四人のグループは、「総合的な学習の時間」に海で安全に過ごすことの現状と課題について調べ、話し合いをしている。次のグラフ1、グラフ2、グラフ3と文章は、そのときのものである。これらについてあとどの問い合わせに答えなさい。

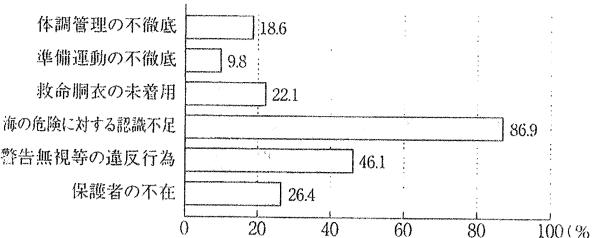
グラフ1

日常生活の中で「海」と聞いて思い浮かべること



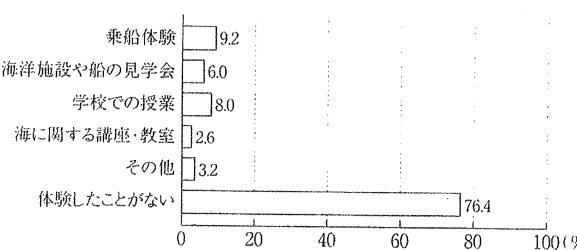
グラフ2

毎年、行楽シーズンに発生する水難事故の原因は何だと思うか(複数回答) [平成26年]



グラフ3

ここ数年であなた、または家族が体験したことのある海事教育(複数回答) [平成26年]



(グラフ1、グラフ2、グラフ3)

日本海事センター「海に関する国民意識調査2014」より作成。

Aさん 本日は、海で安全に過ごすことの現状と課題がどのようになっているのかを考えてみましょう。まず、日本海事センターの「海に関する国民意識調査(平成26年)」によると、「海が好き」と回答した人は、全体で六十九・九パーセントもいるそうです。

Bさん 海が好きな人は多いですね。それに連して、グラフ1は、日常生活の中で「海」と聞いて思い浮かべることを一つだけ挙げてもらい、それを集計したものですが、これを見ると、人々が海に対するどのような印象をもつているのかを把握できます。平成25年と平成26年における回答の割合を見てみると、I ということがわかります。

Cさん つまり、海に関する国民意識調査の結果を見る限り、海を、楽しむ場所と位置付けている人が非常に多いと言えるようですね。

Dさん そうですね、特に、夏休みは大勢の人が海を訪れます。しかし、毎年、行楽シーズンとなる五月から八月にかけては水難事故が発生しています。皆さんもニュースなどで水難事故が伝えられているのを見たり聞いたりしたことがあるのではないでしょうか。

Aさん 残念なことに、毎年同じような水難事故のニュースを見たり聞いたりします。Cさんが話したように、海は楽しむ場所であるにもかかわらず、水難事故が起きているのが現状です。そこで、同じ意識調査には、水難事故について尋ねている質問もあります。

Dさん グラフ2「毎年、行楽シーズンに発生する水難事故の原因は何だと思うか」の回答として、「海の危険に対する認識不足」と答えた人が、八十六・九パーセントと一番多くなっています。

Bさん そのように考えている人が多いことから、私たちが海で安全に過ごして楽しむためには、海が楽しい場所であるのと同時に、危険な場所でもあるという認識をもつことが重要であると言える

でしょう。

Cさん 同じくグラフ2では、「□ II」と回答した人が五割近くいることもわかります。海での過ごし方に関わってくることですね。このことから、私たちは、海で過ごすマナーを守ることも大切だと思います。

Bさん さらに、グラフ3「ここ数年であなた、または家族が体験したことのある海事教育」の回答として、「体験したことがない」と答えた人が、七十六・四パーセントと圧倒的に多いことがわかります。

Dさん 海事教育には、乗船体験や学校での授業、海洋施設や船の見学会などがありますが、私たちは、海事教育を受ける機会を積極的にもつことが必要であると考えます。

Aさん ここまで、海で安全に過ごすことの現状と課題について話してきましたが、私たちが考えなければならないことについては、Bさん、Cさん、Dさんがまとめてくれていたように思います。それらをふまえ、海で安全に過ごして楽しむために大切なことを改めて整理すると、

「私たちは、

大切である。

と「いうことになります。

本日の話し合いを参考に、海での過ごし方をみんなで考えていきましょう。

(7) 本文中の□ I・□ IIに入れるものとして最も適するものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、その番号を答えなさい。

I 1 「レジャー」は五割以上であり、平成25年よりも平成26年の方が大きい

2 「レジャー」は、それぞれの年において、「船」と比べると六倍以上になっている

3 「レジャー」は、それぞれの年において、「海洋生物」よりも四十五パーセント以上大きい

4 「レジャー」と「観光」のそれぞれの年における合計は、六十五パーセント以上である

II .1 保護者の不在

2 警告無視等の違反行為

3 体調管理の不徹底

4 救命胴衣の未着用

(8) 本文中の□に適する「Aさん」のことばを、次の①～③の条件を満たした一文で書きなさい。

① 書き出しの「私たちは、□」という語句に続けて書き、文末の大切である。という語句につながる
ように書くこと。

② 書き出しと文末の語句の間の文字数が六十字以上七十字以内となるように書くこと。

③ 「海で安全に過ごして楽しむために大切なこと」について三つの点に触れていること。